



3日間のクラスマッチ楽しんでいただけただけでしょうが、1年生にとっては初めての、3年生は最後のクラスマッチでしたね。今月は見事1位〜3位になったクラスを記載します。

※サッカーは3年生のみの記載となります。

かけはし 8月号



男子サッカー

1位	3 F 9
2位	3 J 1
3位	3 F 8
3位	3 J 3



混合バレーボール

1年	1 J 2
2年	1 F 2
3年	1 F 7・1 E T 1

1年	2 E 1
2年	2 J 1
3年	2 F 1・2 J 3

1年	3 F 4
2年	3 E 1
3年	3 F 8 3 E 2

女子バレーボール

1年	1 F 5
2年	1 E 1
3年	1 F 4・1 J 5

1年	2 J 4
2年	2 F 6
3年	2 J 3

1年	3 J 1
2年	3 F 8
3年	3 E 2



バドミントン

1年	1 J 3
2年	1 E 2
3年	1 F 4・1 F 8

1年	2 J 3
2年	2 E 2
3年	2 J 2

1年	3 F 5
2年	3 J 2
3年	3 E T 1

オセロ

1年	1 E 1
2年	1 E 2
3年	1 F 6

1年	2 F 2
2年	2 F 7
3年	2 E 2

1年	3 E T 1
2年	3 F 1
3年	3 F 5



総合優勝

1年	3 F 8
2年	3 J 1
3年	3 F 5

focus the KAKO

全国大会出場者壮行会

今年は10の部活動が全国大会出場を決め、饒として壮行会が行なわれまして、和太鼓演奏・選手紹介の後に各部の代表が挨拶をし、男子ソフトテニス部の中島清貴くん(3 F 7 垂水中央)は、「皆さんの応援を糧に頑張りたい」と意気込みを述べました。

徳丸喜代志校長は「この誇らしい鹿児島高校生の活躍する姿が、OBや先生方、他の部活動生を元気づける。鹿高スピリットを全うして欲しい」と激励の言葉を述べ、各校生徒からのエールで会は締めくくられました。選手の活躍は別途紹介します。

focus the KAKO

第51回 校内作文コンクール表彰式

4月末〜GW期間中に書いた生活作文の入賞者について、1学期終業式で表彰を行いました。

この作文コンクールは日頃の考えを形にするもので、1年生は心機一転、はじめての経験です。2学期の過程に向けていきたいと思います。

【普通科】
 1年 坂上美穂(1 F 1 伊集院北中)「高齢社会のあり方について」
 2年 弥栄星良(2 F 2 日当山中)「自分を見つめて」
 3年 尾前和奏(3 F 2 清水中)「黒人差別から学ぶこと」

【情報ビジネス科】
 1年 東達菜(1 J 1 吉野東中)「小さな一歩」
 2年 高野杏(2 J 3 東谷山中)「自分を見つめて」
 3年 須田紗也佳(3 J 1 清水中)「その一言で」

【英数科】
 1年 谷口心絆(1 E T 1 鹿大附属中)「夢へ向けて」
 2年 齊藤ひとみ(2 E T 1 額娃中)「他人まかせをする心情」
 3年 富谷佳純(3 E T 1 伊敷台中)「小さくなった祖父の手」



focus the KAKO

1学期終業式

7月20日(火)の1学期終業式で、3名の代表生徒が1学期を終えての感想を発表しました。上井翼くん(2 F 5 帖佐中)は、部活で学んだことや目標を、「一氏千桐くん(2 E T 1 谷山北中)は志望校へ必ず合格することを全生徒の前で宣言し、巡幸樹



9月の行事予定

30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1		
木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水
職員会議(45分×7回) / 新三弧会役員を希望する生徒への説明会 / 未来探求																															



Scio(スキオー)の意味

知るを意味するラテン語。science(科学)の語源にあたるscientia(知識)は、Scioの派生語とされています。

健康を考える
〜直感・間違い・根拠・言葉〜

「Aさんは85歳の女性。息子夫婦と高校三年生の孫と同居している。最近Aさんは物忘れがひどくなった。ある日、高校三年生の孫と二人きりの時に『私の大切な写真がなくなりました。嫁がとったに違いない。』と訴えてきた。あなたが、高校三年生の孫の立場にあるとき、どのような対応をするのが最も適切か。(西村要約)」

これは東京〇〇大学医学部保健衛生学科の2019年選抜のグループディスカッション(集団討議)の問題です。

皆さんならどのように考え、どのように答えますか。

直感的には、「Aさんの話を聞いてあげる」「一緒に写真を探す」などの答えが思い浮かぶかもしれませんが、「一緒に一般的に、大学入試では受験生の知識・技能・論理的思考力を問うています。感覚的な答えをいきなり解答として出すのは危険です。しかし、直感とは物事を考えるヒントになります。私は、このような時、直感とはあえて逆の答えを考へるようになっています。例えば、

「何言っているの。そんなわけないでしょ。よく探してみたら、」これは、高齢のAさんにとってはかなり厳しい言葉です。当然、この言葉を解答として出せません。しかし、この言葉はなぜ

不適切なのでしょうか。Aさんは写真を紛失し、その原因をお嫁さんに求めています。この時点で、Aさんは家族(お嫁さん)に対して不信感を抱いています。そこに、先の言葉を突きつけることは、孫(あなた)がAさんに対して孤独感・疎外感を与えてしまうこととなります。家族に対する不信感と、家族から与えられた孤独感・疎外感。Aさんにとっての隔絶という形で構造的に拡大する可能性があり、問われているのは、その際の行動決定です。これまでの思考で一つの解答を導くことができそうです。

世界保健機関(WHO)では、健康を「単に身体的だけではなく、精神的・社会的に健康・健全であること」と定義しています。Aさんの健康被害は「物忘れがひどくなった」という症状(認知症やアルツハイマーなどが想定)だけではなく、家族という社会において、孤独という社会的健康被害の初期の状態と考えることができます。その不健康さは孫との隔絶という形で構造的に拡大する可能性があり、問われているのは、その際の行動決定です。これまでの思考で一つの解答を導くことができそうです。

「Aさんは写真を紛失したことによって、家族への不信を感じ始めている。この状況において、孫である私は、Aさんの不信感が、家族内での孤独感や疎外感にならぬよう、Aさんに寄り添うことが必要と考へる。具体的には、きつかけとなる失われた写真をAさんと共に探してあげることが、最も適当な行為である。できれば、Aさんと共に写真を探しながら、その思い出を共有してあげたい。当然、早急にAさんが病院で診察を受けられるよう家族に提言することも忘れるべきではないだろう。」

以上が私の意見です。最初の直感的な答えと相違ないことにお気づきでしょうか。しかし、あえて、遠回りすることで、意見に根拠をつくることができました。直感とは思考の契機になる。間違いの理由は解答の根拠でもある。しっかりと思考することで、論理的(説明的)な主張が可能となる。思考とは言葉を紡ぐことである。以上のこと、この問いに触れることで学べたようです。

【進学指導室主任】西村浩一

部活動の活躍

男子ソフトテニス部

- 7月4日 第67回鹿児島県ソフトテニス選手権大会
●一般男子の部
3位 亀井駿平(3F3日当山中) 大久保悠汰(3F5日当山中)
7月10日 全九州高校総体ソフトテニス競技
優勝 亀井駿平(3F3日当山中) 大久保悠汰(3F5日当山中)

陸上競技部

- 6月26日 第37回U20日本陸上競技選手権大会
[U20女子三段跳]
8位 片野坂唯月(2J1高尾野中)

駅伝部

- 7月2日、4日 鹿児島県陸上競技選手権大会
●一般の部
【女子8000m】
2位 宇都ひなた(3J5伊敷中)
3位 藤元あみ(2J2城西中)
【女子5000m競歩】
2位 新村萌華(3J3羽島中)
【男子8000m】
2位 今村蓮(3J5吉野東中)
3位 桑原健助(3F6松元中)
4位 今村愁(3J1吉野東中)



サッカー部

- 7月25日 「ナフエナジー杯」
第31回鹿児島県高等学校1年生(U-16)ユースサッカー大会
優勝
【男子3000m障害走】
4位 増水蓮(2J2南中)
5位 久保俊翔(2F2帖佐中)
【男子5000m競歩】
6位 高野翔太(3J1吉野東中)
【ジュニアの部】
2位 新村萌華(3J3羽島中)

フェンシング部

- 国民体育大会鹿児島県予選フェンシング
●少年男子
2位 税所良介(3J2長田中)
3位 川ノ上可乃音(1J4清水中)
以上、2名は8月28日29日に福岡県で行なわれる九州プロン大会に参加します。
令和3年度全九州高等学校総合体育大会フェンシング競技
●女子エヘ個人
8位入賞 四本明李(3F5清水中)

水泳部

鹿児島県選手権水泳競技大会

- 7月3日、4日
【無差別男子50m自由形】
2位 本波星宇(1F8帖佐中)
6位 高橋叶和(2F2西陵中)
【無差別女子100mバタフライ】
2位 黒木梨々夏(3F4南中)
3位 柳こはる(1J2甲南中)
【無差別女子50m背泳ぎ】
2位 山下愛紗(3F8吾平中)
【無差別男子50m自由形】
2位 末永愛月(1F6吉野中)
3位 黒木梨々夏(3F4南中)
3位 黒木梨々夏(3F4南中)
【無差別女子50m平泳ぎ】
3位 飯屋透子(3EE2鹿大附属中)
【無差別女子100m平泳ぎ】
3位 末永愛月(1F6吉野中)
4位 飯屋透子(3EE2鹿大附属中)
【無差別女子400m個人メドレー】
4位 早崎愛莉(1F4甲南中)
【無差別女子100m背泳ぎ】
5位 山下愛紗(3F8吾平中)
【無差別女子200m個人メドレー】
5位 早崎愛莉(1F4甲南中)
【無差別男子50m平泳ぎ】
6位 南谷輝人(3F8吉野東中)
【無差別女子50m自由形】
6位 片岡ミヅ(2F5鴨池中)
【無差別女子200m平泳ぎ】
6位 末永愛月(1F6吉野中)

全九州高等学校水泳競技大会

- 7月17日、19日
【女子総合】
7位
【女子400mメドレーリレー】
5位 山下愛紗(3F8吾平中) 末永愛月(1F6吉野中) 黒木梨々夏(3F4南中) 片岡ミヅ(2F5鴨池中)
【女子400mフリーリレー】
6位 末永愛月(1F6吉野中) 黒木梨々夏(3F4南中) 森夢生(2F6川内南中) 片岡ミヅ(2F5鴨池中)
【女子400m個人メドレー】
4位 早崎愛莉(1F4甲南中)
【女子200m個人メドレー】
6位 早崎愛莉(1F4甲南中)
【男子200m自由形】
6位 宮崎珀弥(1F8鴨池中)
【男子50m自由形】
7位 本波星宇(1F8帖佐中)
【女子100m平泳ぎ】
8位 飯屋透子(3EE2鹿大附属中)
【女子100mバタフライ】
9位 黒木梨々夏(3F4南中)
【女子200m平泳ぎ】
9位 末永愛月(1F6吉野中)
【女子50m自由形】
10位 片岡ミヅ(2F5鴨池中)
【女子100m平泳ぎ】
10位 末永愛月(1F6吉野中)

書道部

- 第59回南日本七夕書道展
鹿児島市長賞
宮之原紀香(3F1城西中)
南日本書道会賞
西浦未華(3EE1鹿大附属中)

音楽部

- 8月1日 第76回九州合唱コンクール
鹿児島県予選
【高等学校部門】
金賞
なお、9月10日、12日久留米で行われる九州大会へ出場します。
8月5日 第88回NHK全国学校音楽コンクール
鹿児島コンクール
金賞
なお、10月に福岡で行われる九州大会へ出場します。

その他の活動

- 高校生課題発表大会2021ポスター部門
優秀賞
吉原彩乃(3ET1帖佐中)
今年度もたくさん部活動が活躍しています！結果はホームページでも随時更新中です！

学びのヒント

テレビのチャンネル権

地歴科・ハケ代碧

「あー。今夜もプロ野球中継を観るのか。」

私の家では父親の権力が絶大で、テレビのチャンネル権は彼のものだった。私の幼い頃は、夜ご飯の時はプロ野球中継と歴史番組しか観た記憶がない。ただ、月曜19:00から30分だけは好きな番組を観るのが許されていた。アニメを見るのが大好きだった小学生の私は、19:00までにお風呂と宿題を終わらせることを命としていた。

ただ、勉強が苦手だった。特に算数。計算ドリルの問題を毎日20問解かなければならない。「どうやって早く宿題を終わらせて、好きなアニメを観れるんだろう...。」

その日は、授業で先生が伝えた計算問題の解き方のコツをなぜか覚えていて実践した。すくすく速く解けた。アニメ開始時間に十分間に合った。お風呂は間に合わなかったけど。

その日から、私は学校の授業をしっかりと聞くようになった。よく聞いてみると、先生は問題を解くコツや面白い話をしている。授業で出された課題を諦めずにくり返し解くと、計算ドリルの問題が面白いように解ける。そして、速い。

次はお風呂を早く済ませねばならない。そのためには家族の中で誰よりも早く入らなければならぬ。自分でお風呂を洗い、お湯をためて入るようになった。母親が無言でおつかいをくれた。アニメを観ただけだったのに、「なかよし」まで買えた。

最近、生徒に聞かれたことがある。「何で勉強するの？」よくある質問だ。私は「質問にまともな答えられたことはない。けれど、個人的意見はある。勉強する内容に意味はないかもしれない。実際、私の今の生活に微分積分もスイミーも飽和水蒸気量もpHもlogも役立っていないように思える。職業柄、歴史が役立っているだけ。けれど、「私はこの分野が得意だから、この宿題から取りかかったほうが早く終わって、友達とメールする時間ができるかも」とか「英語の長文を読めるようになるには、事前に単語を理解したほうが早く読めて試験時間も焦らなくていい」とか、学習内容や物事に優先順位をつけて実行することで、勉強ができるようになった。勉強の仕方自体には意味があると思ってる。

きつと受験勉強とか普段の宿題とかも同じだと思う。自分は何が得意で何が苦手、何を優先的に勉強しなければいけないか、何を理解すべきなのか。そのため「今」何をすればいいか。これを考えて実行するべきなのではないだろうか。

現在父親はキャンプにハマっている。自宅の庭に張ったテントの下でプロ野球中継のラジオを聞きながら、相変わらず広島東洋カープを熱心に辛口応援している。